

令和3年度第1回 里庄町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和3年10月28日(木)〈開会9時00分、閉会9時40分〉
- 2 場 所 里庄町役場本庁舎2階 第2会議室
- 3 出席者 町 長 加藤 泰久
教育長 杉本 秀樹
教育委員 三吉 俊郎 堀 朝子
藤井 幸治 小野 愛
オブザーバー 内田副町長 小寺教育委員会事務局長
淡路教育委員会参事 天野事務局長補佐
事務局 赤木総務課長 佐藤総務課主事

4 議事にかかる出席者の発言

(1) 町立学校におけるGIGA端末活用状況について(議事進行:町長)

【加藤町長】

町立学校におけるGIGA端末活用状況について、教育委員会から説明をお願いしたい。

【杉本教育長】

この10月より、小野委員が就任し新しいメンバーで教育委員がスタートしている。また、教育委員会と町長は十分な連携、意思疎通を図り、教育行政を行っている。本日は、町立学校におけるGIGA端末活用状況について説明をさせていただく。内容については、天野事務局補佐が説明を行う。

【天野事務局補佐】

町立学校におけるGIGA端末活用状況について説明をさせていただく。

今年度より小中学校でGIGA端末活用が始まっている状況で、まずは使ってみるということで「教具から文房具へ」というキャッチフレーズがある。先生が教える道具ではなく、子どもたちが鉛筆、筆箱、ものさしや消しゴムのように気軽にいつでも使える文房具のようにしていきましょう、と先生方に周知をしている。

実際に1学期の間でどのように使われているか説明をすると、国語、社会、算数といった全般の教科に使用している。これ以外に働き方改革に繋がるような取り組みとして職員会議をペーパーレス会議で行うなどしている。次に活用内容について説明をする。個人、グループ・全体で使っている場面、先生からの指導で使っている場面がある。詳細については、個人の学習の進捗状況の確認やグループ全体で意見交流、意見の練り上げていく活用を行っており、それぞれの場面において最適な活用がなされている状況にある。また、今年度はステージ2に該当するが、来年度からはステージ3の活用状況に引き上げていく必要がある。しかし、ここに大きな課題があり、従来の黒板にチョークとノート、鉛筆の

学習スタイルから転換する必要がある。先生方の授業観を変えていくことが県も大きな課題であると認識している。これは里庄町においても大きな課題であると考えており、子どもたちが学習するにあたり、どの学習場面で端末利用が最適なのか検証が必要である。ステージ3の学習のイメージは、現状は先生が主導で学習スタイルを決めているが、これからは子どもと共に学び方を決めて端末利用をしていく必要がある。ただ、すべてにおいて利用するのではなく、例えば図書室で辞書や図鑑を調べてまとめていくやり方でもいい。子どもが自らツールを選んで、先生と子どもで最適な学習方法を決めていく学習スタイルを構築できればと考えている。

最後に、家庭への持ち帰りが大きな課題となっている。現状、定期的な持ち帰りは行っていない。持ち帰らせて何をするかという目標がはっきりした時点で、Wi-Fi ルーターの貸し出しをスタートさせていく予定。また、コロナによる急な学校閉鎖があった場合、緊急的な持ち帰りのWi-Fi ルーターの貸し出しは現状考えていない。機器の貸出料金は無料であるが、データ通信料金は家庭での負担になるため、慎重に対応していく。

【加藤町長】

説明があったことについて各委員から意見等があればお願いしたい。

【三吉委員】

実際に先生方が授業を行って感想等はあるか。

【天野事務局補佐】

小・中学校それぞれに推進委員がおり、各学校の推進委員から進捗状況を確認しているが、現状、お試しの段階であり、役立つ場面とここでは必要ななかったなという場面があった。また、使いたい時にすぐに使えないことがあり、授業中に保管庫の中から出して自席に持っていくといった手間がかかる。朝登校してきた時に保管庫から取り出して自席で保管する、または、教室のロッカーに入れておくといった方法を、検討中の段階である。

【三吉委員】

一部の高校では、黒板を見て板書をするのではなく、黒板を写真で撮ることで書くことよりも聞くことに集中をして授業を行っているところもある。小中学生が高校生のようにできるかというところではないと思うが、柔軟に使いこなせていけばペーパーレスでの効率化が図れるのではないかと思う。

【小野委員】

端末を持ち帰った場合の、家庭での充電は可能なのか。

【天野事務局補佐】

可能ではあるが、ACアダプターは、現在、学校の保管庫の中にあり、基本的には学校で使うことを優先的に考えている。また、家庭用のスマホの充電器等では出力が足りないため十分に充電ができないことが考えられる。

【小野委員】

低学年の子どもでも端末の充電はできるのか。以前、低学年の子どもがいる家庭で、家に持ち帰ったが、充電が不十分であり使用することができなかったということを知ったことがある。

【天野事務局補佐】

低学年の子どもについては、時間等がかかってしまうことは、致し方ないと考えている。今のところは、学校で使うことを優先的に考えているが、将来的に家庭に持ち帰るとなった場合は、ACアダプターも併せて貸し出すということも考えられる。

【堀委員】

1学期の状況で、全教科で使われたということであるが、一日の端末の充電は持つのか。

【天野事務局補佐】

学校では夜間で充電をしているので、一日持つようになっている。

【堀委員】

ステージ3以降になると、生徒の端末にデジタル教科書を入れてとあるが聞いたことがあるが、里庄町では生徒の端末にデジタル教科書を入れることは考えているのか。

【天野事務局補佐】

デジタル教科書になると一教科いくらといった有償になる。実証実験として東西小学校の5年生の算数のみ無料で使えるといったことを行っている。また、紙の教科書は4年に一度改定が行われており、次の改定時に何かしらの動きがあるのではと考えている。

【藤井委員】

実際に使ってみての子どもはどのような反応があったのか。

【天野事務局補佐】

子どもの反応は、興味があり、使ってみたいという反応である。また、勉強に向きにくい子どもでも、端末があれば、勉強が進むといった意見もあった。

しかし、端末を使用するにあたり、文字を入力するタイピングの力が求められ、現状では課題として考えている。

(2) 要保護児童の現状について（議事進行：町長）

【加藤町長】

要保護児童の現状について、教育委員会から説明をお願いしたい。

【天野事務局補佐】

先日、健康福祉課主催で要保護児童対策協議会といった会議が開催されその中で、健康

福祉課が把握しているものが多数あるということが示されたところである。

本日はその中から次のケースについて話をさせていただく。

個別のケースについて説明をし、質疑応答を行った。

【杉本教育長】

教育委員会でも対応を行っているが、健康福祉課の存在がとてもありがたく思っている。特に電話等、スピーディーな対応に感謝をしている。ほかの市町では、教育委員会と福祉部局の連携が上手くいっていないということもある。

また、普段より、連携が取れていることもあり、児童相談所、玉島警察署へも教育委員会から連絡を取ることができる。

【加藤町長】

その他、意見等はあるか。

全委員意見なし。

本日の議事を終了する。